

『2010 年上半期（1月～6月）JVA統計調査』について

当協会は9月9日(木)午後1時より、協会会議室において『2010 年上半期（1月～6月）JVA統計調査結果』について記者発表会を開催しました。

以下に記者発表された報告の中から抜粋して2010 年上半期の統計調査結果についてご報告いたします。

なお、同調査の詳細な結果は『日本映像ソフト協会統計調査報告書 Vol.70』として冊子にまとめられ、一般の方にも有料にて頒布しております。

詳細については、広報課上田まで(03-3542-4433)、もしくは協会ホームページ「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以上

2010 年上半期（1月～6月）の実績について

今期の統計から、ビデオカセットを調査の対象外とした。ビデオソフトの総売上についての前期比、前年同期比の算出の際には、当該期のビデオカセットの実績を除いた数値を用いている。

DVDとブルーレイのコンボ作品についてはブルーレイにカウントしている。

1. 今期のビデオソフトの総売上金額は1,194億2,400万円で前年同期比93.6%となった。
そのうち、DVDビデオの売上金額は1,017億1,100万円で前年同期比85.5%と落ち込む一方、ブルーレイは176億4,800万円で同209.0%と倍以上の伸長となった。しかしながら、DVDビデオの落ち込みをカバーするまでには至っておらず、総売上は前年同期を割り込むこととなった。UMDの売上金額は6,500万円で前年同期比26.0%となった。
総売上金額に占めるDVDビデオ、ブルーレイ、UMDの割合は、85.2：14.8：0.1となり、ブルーレイが前年同期の6.6%から大きく構成比を伸ばしている。
2. 売上数量では、DVDビデオが3,445万7,240枚で前年同期比93.3%、ブルーレイが452万3,162枚で同259.3%、UMDが6万0,676枚で同33.3%となり、ビデオソフトの総売上数量の合計は3,904万1,078枚で、前年同期比100.5%と前年同期並だった。
3. DVDビデオの流通チャネル別売上は、販売用が656億8,700万円で前年同期比88.9%と、前年同期と同様に1割以上の落ち込みとなった。また、レンタル店用も355億3,100万円で同79.1%と2割以上の大きな落ち込みとなった。販売用、レンタル店用、業務用の売上金額の割合は64.6：34.9：0.5。
ブルーレイにおいては、販売用が170億3,100万円で前年同期比219.7%と2倍以上の伸長となったが、レンタル店用は5億7,300万円で同83.6%と前年同期を割り込むこととなった。販売用、レンタル店用、業務用の売上金額の割合は96.5：3.2：0.2。

4. ビデオソフト全体 (DVD ビデオとブルーレイ及び UMD の合計) の流通チャネル別売上を見てみると、販売用は、ブルーレイの伸長が影響したことから、計 827 億 8,300 万円で前年同期比 101.1%とわずかながら前年同期を上回り、数量においては、2,666 万 7,046 枚で同 108.1%と大きく前年同期を上回った。販売用売上金額における DVD ビデオ、ブルーレイ、UMD の割合は、79.3 : 20.6 : 0.1(前年同期のブルーレイの割合は 9.5)となり、ブルーレイの割合が大きく増加した。

一方、レンタル店用は 361 億 0,400 万円で同 79.2%と大きく前年同期を割り込んだ。レンタル店用売上金額における DVD ビデオ、ブルーレイの割合 (UMD のレンタル店用は売上無し) は、98.4 : 1.6 で、レンタル店用においてはブルーレイの売上は非常に小さい。

5. DVD ビデオの販売用の売上金額をジャンル別に見てみると、構成比 1 位は『音楽 (邦楽)』で 25.1%を占めた。同ジャンルは前期 (2009 年 7 月 ~ 12 月) に『日本のアニメーション (一般向け)』を抜いて 1 位となったが、今期も前年同期比 112.0%と二桁の伸長となっており、好調ぶりを堅持している。2 位は『日本のアニメーション (一般向け)』で 21.0%を占めているが、前年同期比は 61.6%と大きく前年同期を割り込んだ。3 位は、前年同期比 177.7%と大きく伸長した『洋画』で構成比 14.8%を占めた。同ジャンルは前年同期には 5 位 (構成比 7.4%) と低迷していたが、今期は『THIS IS IT』や『アバター』等のビッグタイトルのリリースが売上増に大きく貢献したとみられる。

数量においては『洋画』が前年同期比 154.9%と大きく伸長し、構成比も 31.8%を占めて 1 位。2 位には前年同期比 116.7%の『音楽 (邦楽)』(構成比 20.6%) が、『日本のアニメーション (一般向け)』は前年同期比 61.3%と大きく割り込み構成比 15.1%で 3 位となった。

6. DVD ビデオのレンタル店用の売上金額のジャンル別では、構成比 1 位の『洋画』が前年同期比 77.1%、2 位の『日本のアニメーション (一般向け)』が同 67.9%、3 位の『邦画』が同 82.3%、4 位の『海外の TV ドラマ』が同 64.0%と、ほとんどのジャンルで前年同期を割り込んだが、5 位の『日本の TV ドラマ』だけが同 103.8%と前年同期をやや上回った。

7. ブルーレイの販売用の売上金額のジャンル別では、『日本のアニメーション (一般向け)』が全体の 63.2%を占め構成比 1 位、前年同期比も 245.8%と伸長している。2 位の『洋画』は構成比 21.4%、前年同期比 198.1%、3 位の『邦画』は構成比 7.8%で前年同期比 334.3%となっている。その他のジャンルのほとんどにおいても大きく前年同期を上回ったが、この 3 つのジャンルで売上金額の 92.4%を占めており、ジャンルの広がりはまだ見られない。

8. ビデオソフト全体 (DVD ビデオとブルーレイ及び UMD の合計) の販売用の売上金額をジャンル別に見てみると、DVD ビデオの販売用と異なり、構成比 1 位は『日本のアニメーション (一般向け)』(構成比 29.8%)で前年同期比 91.3%、2 位に『音楽 (邦楽)』(同 20.6%)前年同期比 113.4%、3 位に『洋画』(同 16.1%)前年同期比 181.7%となる。それぞれのジャンルの売上金額についてのブルーレイの割合は、『日本のアニメーション (一般向け)』が 43.7%、『音楽 (邦楽)』が 3.4%、『洋画』が 27.3%となっており、特に『日本のアニメーション (一般向け)』ジャンルにおけるブルーレイの貢献度が高くなっていることがわかる。

以 上